

医療用品4 整形用品
一般医療機器 家庭用温熱パック 71019000

めぐりズム® 蒸気の温熱シート a 1

再使用禁止

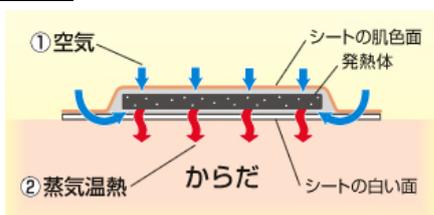
【禁忌・禁止】
再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

本品は、発熱体の鉄粉と空気中の酸素が反応して、熱ならびに水蒸気が発生する。

①シートの両面から、空気を取り込んで、②発熱体から、温熱と蒸気が発生し、シートの白い面から出てくる。

*肌側不織布：ポリプロピレン 発熱体：鉄粉含有



※シートの発熱温度と持続時間は、シートの両面からの空気を取り込み方で多少変わります。

【使用目的又は効果】

発熱する特殊な化学物質等を内蔵したもので、活性化することにより発熱したものを患部に当て、消炎鎮痛処置(温熱治療)を行う単回使用のパックをいう。本品は家庭において使用される。

1. 使用目的：本品は、筋肉痛等の患部に適用し、血行の促進、痛みの緩解等に有効な温熱療法に使用することを目的とする。
2. 効果：温熱効果

【使用方法等】

①袋からシートを取り出したらすぐに、肌に直接貼る。



②発熱が終わったら、シートを端から少しずつゆっくりはがす。

<使用方法に関連する使用上の注意>

- 1) 髪の毛を巻き込まないように注意する。
- 2) 汗や水分をふきとった乾いた肌に、必ずフィットするように貼る。
- 3) 何度も貼りなおすと、はがれやすくなる。
※温度と持続時間は、使用環境によって変わることがあります。

【使用上の注意】

1. 使用注意

- 1) 次の方は使用しない。
 - ・温熱で湿疹やじんましんが出る方
 - ・温感が低下している、または温度に敏感な方
 - ・ばんそうこう等の刺激に弱い方、かぶれた経験のある方
 - ・自分の意思ですぐにはがすことができない方

2) 次の部位には使用しない。

- ・打ち身、ねんざ等による熱・腫れ等の炎症部位
- ・粘膜、顔(目のまわり等)
- ・切り傷、すり傷、虫刺され等がある部位
- ・湿疹、かぶれ等がある部位
- ・貼り薬や塗り薬等を使用している部位
- ・ひざの裏側等、シートがシワになりやすい部位

3) 次の方は医師または薬剤師に相談する。

- ・医師の治療等を受けている方
- ・糖尿病の方、血行障害がある方
- ・のぼせやすい方
- ・発熱している方、炎症性疾患のある方
- ・薬や化粧品等でアレルギー症状(発疹、発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある方
- ・妊娠中の方

2. 重要な基本的注意

- 1) 熱すぎると感じた場合は、すぐに使用を中止する。
- 2) 就寝時には使わない。
- 3) 粘着部分がシワになったり、発熱体が重なったり、シートが浮いたりはがれたりしないように貼る。
- 4) シートを貼った部位を部分的に強く圧迫しない。
- 5) シートを貼った部位を電気毛布、こたつ、ストーブやカイロ等で温めない。
- 6) かゆみを強く感じたり、その他身体に何らかの異常を感じた場合は、すぐに使用を中止する。
- 7) 次の場合は、その後の使用を中止し、医師に相談する(使用を続けると、症状が悪化することがある)。
 - ・使用中、急激に痛みが強くなった場合
 - ・赤みやかゆみ等が消えない場合
 - ・湿疹、かぶれや低温やけど等が現れた場合
 - ・腰痛等患部の症状が悪化した場合
- 8) シートが破れて内容物が皮フに触れた場合は、洗い流すか、ぬれた布でふきとる。目に入った場合は、こすらずすぐに充分洗い流す。異常が残る場合は、医師に相談する。
- 9) 毎日使う場合は、貼る位置をずらす(肌への負担を減らす)。
- 10) 同じ部位には1日1回の使用を限度とする。
※温熱効果で血行がよくなるので、一時的に使用部位が赤くなったり、かゆみを感じたりすることがあります。

3. その他の注意

- 1) シートを切ったり、もんだり、無理に変形させたりしない。
- 2) 破損したシートは使用しない。
- 3) 発熱が終了したシートは再使用できない。
- 4) 電子レンジで加熱しない。
- *5) 発火の可能性があるため、個装袋がコンセントに触れないように注意する。
- 6) 地域のルールに従い、冷めてからごみに出す。

【保管方法及び有効期間等】

- 1) 幼小児、認知症の方等の手の届かないところに保管する。
- 2) 直射日光や気温の高いところ、熱源（*暖房器具の上など）をさけて保管する。

【製造販売業者及び製造者の氏名又は名称等】

花王株式会社

〒103-8210 東京都中央区日本橋茅場町 1-14-10

商品に関するお問合せ フリーダイヤル 0120-165-696